

平成14年11月21日

各位

株式会社大京

取締役広報部長 大越 武

大京グループの仲介流通部門
(株)大京住宅流通の平成14年9月中間期の仲介流通実績

大京グループ一体営業により、「住み替え」が拡大

取扱高568億円(前年同期比22.5%増!)

—— 取扱件数 2,752件(同13.9%増!) ——

—— 手数料収入 26億円(同9.5%増!) ——

大京グループの仲介流通部門であります株式会社大京住宅流通(代表取締役社長:安倍毅夫、資本金:14億13百万円)の、平成15年3月期の9月中間期(平成14年4月1日から9月30日)における仲介流通実績がまとまりましたので、お知らせいたします。

平成15年3月期の9月中間期における取扱件数は2,752件、取扱高は568億46百万円、手数料収入は26億96百万円を計上し、取扱件数においては前年同期比13.9%増、取扱高では同22.5%増、手数料収入では同9.5%の増加となりました。

◆仲介流通実績が前年同期と比べ大幅に増加した理由

1. 大京グループのマンション事業における重点施策であります「住み替え」や「買い増し」などのニーズに対応した、グループ一体となった組織営業が、中古流通分野で相乗効果を発揮したこと。
2. 大京の新築ライオンズマンションの販売において、「ライオンズマンション」から「ライオンズマンション」への「住み替え」、「一戸建て」・「他社マンション」から「ライオンズマンション」への「住み替え」に注力したグループ一体営業により、中古住宅の取扱件数・金額が大幅に増加したこと。
3. エリア特化営業によりエリアへの浸透が図れ、売却物件の取り込み件数の増加に比例して、購入顧客の獲得が進んだこと。
4. 「住み替え」の取り込みが進んだことにより、価格帯の高い中古マンションや一戸建て住宅の取り込みが可能となり、取扱高の大幅増加につながったこと。
5. インターネット営業への積極的な取り組みにより、掲載物件の内容充実と物件件数の増加が奏功したこと。

以上の理由により、平成15年3月期の9月中間における取扱件数、取扱高、手数料収入ともに前年同期を大幅に上回ることとなりました。

◆株式会社大京住宅流通の仲介流通実績

区 分	期 別	平成15年3月期 (9月中間)	平成14年3月期 (9月中間)	対前年同期比 (%)
		平成14年4月1日 平成14年9月30日	平成13年4月1日 平成13年9月30日	
件 数		2,752件	2,416件	13.9
取 扱 高		56,846百万円	46,393百万円	22.5
手 数 料 収 入		2,696百万円	2,460百万円	9.5
店 舗 数		26店	26店	
(首都圏)		17店	17店	
(中部圏)		2店	2店	
(近畿圏)		3店	3店	
(その他)		4店	4店	

(参考)

◆大京の「買い替え」需要動向

大京では、マンション事業における重点施策を「住み替え」、「買い増し」などのニーズへの対応としております。

大京の平成14年4月から9月までの上半期におけるマンション契約のうち、持ち家契約率は全契約の1/3(約32%)を占めています。このうち買い替え契約比率も約14%から約22%へと上昇し、さらに「ライオンズマンション」から「ライオンズマンション」への買い替えも前年同期比56%増となっております。

以 上

<p>この件に関する問い合わせ先 株式会社大京 広報部 (担当:伊奈、相楽) 03-3475-3802</p>
